

令和8年3月18日

荒尾市教育長
浦部 眞 様

荒尾市立平井小学校
校長 木村 幸一

令和7年度 学校評価について

令和7年度学校評価アンケートを実施しました。保護者アンケート、児童アンケート、職員アンケートをもとに、学校関係者評価委員会（平井小学校学校運営協議会）でご協議いただきましたので報告します。

◎アンケートの評価については、平均得点が上位の項目を「良かった項目」、平均得点が3.00未満の項目を「悪かった項目」としてあげています（「あてはまる」4点、「だいたいあてはまる」3点、「あまりあてはまらない」2点、「あてはまらない」1点）。

1 児童の学校評価について

【良かった項目】（平均得点が上位の5項目）

内 容	平均得点
①学校（学級）が楽しいと思う。	3.88
⑪登下校など、いつも交通事故に気をつけている。	3.66
⑥タブレットや電子黒板を使った学習は役に立っている。	3.55
⑫先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる。	3.55
⑮平井小学校で、学んでよかったと思う。	3.45

【悪かった項目】（平均得点が3.00未満の項目）

内 容	平均得点
⑦毎日、家で決められた時間以上、進んで家庭学習をしている。（1年生…20分、2年生…30分、3年生…40分、4年生…50分、6年生…70分）	2.63
⑰家では、テレビや動画を見る時間やインターネットやゲームをする時間を守っている。（2時間以内、夜9時以降はしない）	2.68
⑨図書館やよむよむくんなどから本を借りて、よく読んでいる。	2.73

【考察】

○児童は先生が「わかりやすく勉強を教えてくれる」と感じているようです。また、「平井小学校で、学んでよかったと思う」と答えており、その結果「学校（学級）が楽しい」という項目で肯定的な結果が出ていると考えられます。ただ、「学校（学級）が楽しい」以外の4つの項目は、高い評価ではありますが、昨年度に比べ微減しています。一人一人の子どもに向き合うといった取組の推進については反省すべき点として捉え検討して

まいります。

- 児童は、「登下校など、いつも交通事故に気をつけている」ようです。登下校時の地域の方々の見守り支援は大きいです。事故が起きないように、今後も、安全な歩行の仕方、ヘルメット着用等、学校と家庭、地域で注意を促していく必要があると考えます。
- 児童は「タブレットや電子黒板を使った学習に、進んで取り組んでいる」ようです。タブレットを中心にICTを効果的に活用した学習により、児童はお互いの考えを共有したり情報を集めたりしながら、それらを取捨選択して思考・判断していきます。家庭学習にも活用していますが、長時間使わない等、健康面にも気をつけながら、ルールを守って使うよう家庭と連携をしております。
- 「毎日、家で決められた時間以上、進んで家庭学習をしている。」がよくできていないようです。学年が上がるにつれてできている数値が小さくなっています。家庭学習の工夫（学校での学習と連動した内容、取り組む内容の自己選択、タブレットの活用、確実な看取り等）をしながら、家庭とも連携して学習習慣を身に付けさせてまいります。
- 「家では、テレビや動画を見る時間やインターネットやゲームをする時間を守っている」ができていないようです。学校においては児童にメディアに関する指導をより充実していくとともに、家庭への啓発にも取り組んでまいります。
- 本を読むことに関しても低くなっています。各学級での電子図書も含めた読書奨励、図書委員会の読書ビンゴ、読書まつり等の取組を積極的に行い、図書館教育の充実を図ってまいります。
- 昨年度（そう思う＋だいたい）と比較して、特に評価が低かった項目は以下のとおりです。
 - ・図書室などから本を借りて読んでいる（－16.6ポイント）
 - ・先生は困ったり悩んだりしているときに相談にのってくれる。（－15.7ポイント）これらの項目は本校全体の課題として共有し、改善に取り組んでまいります。

2 保護者の学校評価について

【良かった項目】（平均得点が上位の5項目）

内 容	平均得点
⑮子どもを平井小学校に通わせてよかったと思う。	3.69
①子どもは、楽しく学校に通っている。	3.60
⑫先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる。	3.58
⑲学校は、通信やホームページなどで学校の情報をよく伝えている。	3.54
⑳学校は、地域と連携して、地域人材やふるさとの資源などを活用している。	3.54

【悪かった項目】（平均得点が3.00未満の項目）

内 容	平均得点
⑦子どもは、毎日、学年で決められた時間以上の家庭学習をしている。（1	2.46

年生…20分、2年生…30分、3年生…40分、4年生…50分、6年生…70分)	
⑨子どもは、学級内での読書を含めよく読書をしている。	2.47
⑰(三中校区メディアコントロール) 家庭では、テレビや動画の視聴やゲームやインターネットの時間は、2時間以内、夜9時以降はしないということを守っている。	2.53

【考察】

- 「子どもは、楽しく学校に通っている」「子どもを平井小に通わせてよかったと思う」「先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる」のポイントが高く、学校の取り組みを評価していただいています。また、「学校は、通信やホームページなどで学校の情報をよく伝えている。」「学校は、地域と連携して、地域人材やふるさとの資源などを活用している。」のポイントも高く、学校の様子を知っていただき、協力・連携しようとしていただいている姿をありがたく思います。また、地域からも多くの支えがあり、学校の取り組みを理解、協力いただいております。
- 保護者のアンケート結果を見ると、全体的に高い評価をいただきました。保護者のご意見に耳を傾けながら、課題の改善に取り組んでまいります。
- 「子どもは、毎日、学年で決められた時間以上の家庭学習をしている」「(三中校区メディアコントロール) 家庭では、テレビや動画の視聴やゲームやインターネットの時間は、2時間以内、夜9時以降はしないということが守れている」が低く、テレビや動画の視聴やゲームやインターネットの時間が多くなり、家庭での勉強時間が不足しているようです。家庭学習については、学校での学習と連動した内容、取り組む内容の自己選択、タブレットの活用、確実な看取り等に取り組んでいます。また、メディアの時間が長くなることの弊害について学習しました。それに、メディアに関する講師招聘の講話を行いました。三中校区メディアコントロールの取組では家庭にご協力いただいています。
- 「子どもは、学級内での読書を含めよく読書をしている」の項目も低くなっています。学習の基本となることです。家庭との連携強化とともに、児童自身が読書に親しむことができる等、読書に親しめる場や環境の整備について考えてまいります。
- 特に評価が低かった項目はありません。

3 職員の学校評価について

【良かった項目】(平均得点が上位の5項目)

内 容	平均得点
⑲学校は、通信やホームページなどで学校の情報をよく伝えている。	3.7
⑬子どものよさを大切にしている(理解している)。	3.6
⑭学校は、いじめのない学校づくりにしっかり取り組んでいる。	3.6
⑳学校は、地域と連携して、地域の人材やもの、行事などを活用している。	3.6
①子どもは、楽しく学校に通っている。	3.5

⑮私は、子どもを平井小に通わせてよかったと思う学校・学級づくりをしている。	3. 5
---------------------------------------	------

【悪かった項目】（平均得点が3. 00未満の項目）

内 容	平均得点
⑦子どもは、毎日、学年で決められた時間以上の家庭学習をしている。（1年生…20分、2年生…30分、3年生…40分、4年生…50分、6年生…70分）	2. 4
⑰（三中校区メディアコントロール）家庭では、テレビや動画の視聴やゲームやインターネットの時間は、2時間以内、夜9時以降はしないということが守れていると思う。	2. 4
⑧子どもは、読み・書き・計算などの基礎的な学力が身に付いてきている。	2. 9

【考察】

- 「通信やホームページの活用」や「地域との連携と地域の人材やものの活用」等地域とともにある学校を実践していることを職員が意識していることが分かります。「いじめのない学校づくり」「子どものよさを大切にする」等本校職員が教育的愛情を基盤に児童を大切にする教育を進めていることが明らかになりました。そのことが、保護者の「子どもを平井小学校に通わせてよかったと思う」割合が高くなった要因でもあると捉えています。
- 「家庭では、テレビや動画の視聴やゲームやインターネットの時間は、2時間以内、夜9時以降はしないということが守れている」における職員の数値の低さは、保護者の意識とも合致しています。「子どもは、毎日、学校で決められた時間以上の家庭学習をしている」に課題があるという結果との関連が大いにあると捉えられます。「読み・書き・計算等といった基礎的な学力の定着」については、学力充実の取組を行っているもの、依然として本校における課題であるという職員の意識が高いことが分かります。引き続き学校での教育活動全体で取組の充実を図っていきます。読書活動の推進についても継続して取り組んでまいります。

4 来年度に向けて

保護者アンケートと児童アンケートの「低い評価」の項目の改善について、職員で共通理解を図り、対策を実施してまいります。

(1) テレビや動画の視聴やゲームやインターネットと家庭学習の充実

学年に応じた家庭学習時間について、学級懇談会等で再度確認します。テレビ等の視聴やゲームやインターネットの利用時間を守って家庭学習時間を確保することについて、さらに指導してまいります。また、家庭学習については、学校での学習と連動した内容、取り組む内容の自己選択、タブレットの活用、確実な看取り等に取り組んでまいります。

(2) 読書の推進

学校で図書の本を借りる機会、及びタブレットを使ったあらお電子図書館の利用を継続して定着させ、学校での読書と家庭での読書を更につなげることが大切と考えます。図書室では新刊図書や新聞記事等を積極的に紹介したり本に親しむイベントを行ったりして、図書館利用を推進してきました。週末の取組として一定時間の読書を家庭学習とする等、家庭との連携を進めてまいります。

5 学校関係者評価委員会の協議等から

2月27日（金）に平井小学校学校運営協議会（兼 学校関係者評価委員会）を開催し、今回の学校評価アンケートの結果についてご協議をいただきました。全体については高い評価をいただきました。今後、更により学校となるようにと下記のご意見をいただきました。

- 学習発表会（授業参観）では、子どもたちの元気な姿、しっかり発表する姿が見られた。学年を追うにしたがって学びの深まりや成長の様子が見られた。
- 本を読む習慣をつけてほしい。学校の図書室ばかりでなく、荒尾市立図書館のデジタル書籍も活用して行ってほしい。
- 登校班で、上級生が下級生のお世話をしている様子が随所に見られ感心した。横断歩道だけでなく、信号のある交差点も左右をきちんと確認して渡るようにして行ってほしい。
- 学校、地域、家庭の連携・協力によって子どもの学習、地域イベントへが行われていることはとても素晴らしいことである。
- 発達段階に応じた指導・支援が大切である。低学年から学習面・生活面できちんとできるように指導・支援をお願いしたい。
- 保護者や児童のアンケートの結果から、学校と家庭、そして、児童の見方が一致することは、これからの改善につながっていく。
- これからも、学校・保護者・地域が一体となって、さらなる「笑顔まんかい平井っ子」の実現に向けて取り組んで行ってほしい。